

1. 事務局

豊島修練会は、財団法人から公益財団法人に移行して 12 年を経過した。公益財団法人として大事にしていることは、本法人を構成している一人一人が設立目的を十分に認識し、法人自治と自己責任経営を軸に公益目的事業を推進し、その目的の実現を図っていくことである。

今後も法人自治と自己責任経営を軸に公益目的事業を推進し、この法人の目的の実現を図っていくために、引き続き次の諸点に力を入れていく。

まずは、事務局のメンバーが公益目的事業の具現化に各人の能力を発揮し、協力し合い、評議員会ならびに理事会と連携していく。

次に、評議員・理事・監事及び評議員会・理事会がそれぞれ独自の機能を発揮しつつ連携して、ガバナンス（機関運営）をより確固たるものとする。そして、法令や本法人の定款、規則・規程に基づいたコンプライアンス（法令遵守・規範遵守）を保ちつつ、日々堅実に実践していくことが重要である。

これらのことを通して、一館二荘の施設・設備に必要な補修を施すなど、適正な管理・運営を進め、本法人の趣旨の周知と利用者の拡大を図っていく。

事務局が令和 5 年度に推進した主な事柄は、次の通りである。

- （１）令和 4 年度における豊島修練会の業務、各会計の処理、財産の運用などについての監査を令和 5 年 5 月 14 日（日）に実施した。
- （２）第 23 回定時理事会が令和 5 年 5 月 27 日（土）に実施され、議題として令和 4 年度の事業報告及び決算の承認、第 12 回定時評議員会の日時・場所・目的であるする事項の決定などが取り上げられた。
- （３）第 12 回定時評議員会が令和 5 年 6 月 11 日（日）に実施され、この会の目的である事項として、令和 4 年度の事業の報告、決算の承認等の決定が行われた。
- （４）第 6 回臨時理事会が令和 5 年 6 月 16 日（金）に書面にて実施され、代表理事・常務理事の選任が決定した。
- （５）令和 4 年度事業報告及び決算にかかわる書類などを令和 5 年 6 月 29 日（木）付で内閣府に電子提出した。
- （６）第 7 回臨時理事会が令和 5 年 9 月 23 日（土）に実施され、議題として所有土地売却が取り上げられた。
- （７）第 12 回臨時評議員会が令和 5 年 10 月 8 日（日）に実施され、議題として所有土地売却が取り上げられた。
- （８）第 24 回定時理事会を令和 6 年 2 月 17 日（土）に実施し、職務報告の後、議事としては、令和 6 年度事業計画案、収支予算案、資金調達書及び設備投資の見込みに伴う基本財産の一部処分などが取り上げられた。
- （９）第 13 回臨時評議員会を令和 6 年 3 月 3 日（日）に実施し、職務報告、令和 6 年度の事業計画、収支予算などの報告があり、議事としては、資金調達書及び設備投資の見込みに伴う基本財産の一部処分などが取り上げられた。

- (10) 令和 6 年度の事業計画書、収支予算書、資金調達 及び設備投資の見込みを記した書類、第 24 回定時理事会の議事録、第 13 回臨時評議員会議事録などを令和 6 年 3 月 26 日（火）付で内閣府に電子提出した。
- (11) 本法人の経理的基盤の安定化のために、利用者の増大に努めるとともに、的確に無駄のない経費の節減を進めた。
- (12) 公益目的事業を円滑に展開していくために、職員同士はもとより職員と利用者等との間における適時適切な報告・連絡・相談の実践に努めた。
- (13) 不特定多数の方々への広報活動として、広報誌「かけはし」の発行の他、「利用案内のしおり」「ちらし」などを作成配布し、本法人が行っている事業について広く PR に努めた。

2. 成美教育文化会館を活用した事業（公益目的事業 1）

会館は、地域社会における不特定多数の人の教育・文化・福祉の向上及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした公益目的事業を行った。

（1）貸室事業の推進

全体の平均稼働率は、38.9%でコロナ以前の平均よりも上回った。（次ページの表参照）。イベントの総数が増えたことと、イベントに伴って、イベント関係者の控室、昼食、休憩場所としてプレイルームや研修室、和室や茶室などがよく利用された。

（2）各種活動への支援

ホールやギャラリースペース、研修室などでの活動の内容をホームページで紹介したり、リーフレットとして配布したりして、いつどのような内容のものを実施しているかを不特定多数の人々に知らせるようにした。

- ①文化・芸術の振興を目的とする活動（講演会、音楽会、絵画展、写真展、その他の文化的発表会など）
- ②福祉の増進を目的とする活動（懇談会、研修会、健康診断など）
- ③健全な発達・育成を目的とする活動（ダンス、日本舞踊、茶道、体操、音楽会、発表会、料理教室など）
- ④人間性の涵養を目的とした活動（絵画、彫刻、俳句、短歌、水墨画、合唱、囲碁・将棋、書道など）

（3）主催・共催事業の開催推進

○映画会

ようやくコロナ前と同じ、年 4 回の映画会を開催することができた。作品の用意、ちらしの作成、当日受付などを稲門会が、会場や機器の準備などを会館が行い、共催で無料映画会を実施した。

- | | | |
|---------|---|---------|
| 【第 1 回】 | 令和 5 年 5 月 25 日（木）午後 2 時～4 時「ひまわり」 | 約 300 名 |
| 【第 2 回】 | 令和 5 年 9 月 28 日（木）午後 2 時～4 時「ウエストサイド物語」 | 約 250 名 |
| 【第 3 回】 | 令和 5 年 11 月 30 日（木）午後 2 時～4 時「心の旅路」 | 約 280 名 |
| 【第 4 回】 | 令和 6 年 2 月 22 日（木）午後 2 時～4 時「シェルブールの雨傘」 | 約 280 名 |

令和5年度 貸室事業の推進

部屋		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	総計	昨年度
ホール	前		8	6	7	12	11	8	9	9	11	7	8	16	112	360	353
	後		11	10	9	13	12	13	13	12	14	12	12	19	150		
	夜		7	5	7	9	5	12	9	9	7	10	4	14	98		
ギャラリー	前		19	15	19	17	15	20	23	23	18	16	17	18	220	612	596
	後		18	17	20	19	16	21	22	23	23	18	16	15	228		
	夜		14	11	16	14	10	15	16	19	12	13	13	11	164		
会議室	前		1	2	6	1	1	0	4	0	1	1	3	4	24	72	95
	後		1	3	7	1	0	0	4	0	1	1	3	4	25		
	夜		4	4	4	0	2	0	2	0	0	1	2	4	23		
調理室	前		10	11	13	8	8	8	10	9	14	8	9	9	117	145	180
	後		1	3	3	1	1	3	4	1	1	1	1	6	26		
	夜		0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2		
美術 工芸室	前		2	2	1	3	2	5	7	5	3	3	4	4	41	109	111
	後		8	8	8	5	3	5	6	5	5	5	4	6	68		
	夜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
音楽室1	前		13	19	9	11	9	16	16	15	12	11	10	12	153	473	439
	後		17	14	15	18	12	20	20	21	17	14	16	19	203		
	夜		11	8	10	10	7	13	11	11	10	9	9	8	117		
音楽室2	前		10	8	11	12	13	17	12	14	16	15	15	15	158	494	485
	後		17	12	14	16	13	10	16	16	13	13	18	17	175		
	夜		13	12	13	16	11	12	12	17	15	13	14	13	161		
大研修室	前		13	14	16	11	9	11	15	16	15	7	12	7	146	320	269
	後		10	11	14	13	9	13	13	12	11	11	13	12	142		
	夜		3	1	2	1	4	4	1	2	1	4	5	4	32		
研修室1	前		12	7	15	12	6	13	15	12	10	8	11	11	132	394	350
	後		14	12	16	16	6	15	16	15	12	10	15	17	164		
	夜		7	6	10	7	4	10	10	10	6	5	13	10	98		
研修室2	前		8	7	5	7	4	10	11	7	6	6	6	6	83	289	190
	後		9	8	11	12	6	12	11	10	10	8	11	9	117		
	夜		7	6	10	7	4	10	10	10	6	5	13	1	89		
和室いずみ	前		5	6	9	8	7	11	15	15	11	11	15	15	128	281	265
	後		13	9	6	8	4	10	14	11	8	10	13	14	120		
	夜		3	4	2	3	2	4	4	2	2	2	2	3	33		
茶室はぎ	前		14	11	14	9	10	12	14	10	12	9	11	12	138	221	241
	後		7	5	5	8	5	6	7	8	5	6	6	5	73		
	夜		2	1	0	1	0	2	1	1	0	1	0	1	10		
プレイルーム	前		12	11	14	15	9	15	16	18	12	9	16	17	164	360	273
	後		8	14	7	11	14	14	11	12	10	4	15	7	127		
	夜		3	11	3	6	8	8	5	6	4	1	10	4	69		
計			335	314	351	341	263	378	406	386	334	288	365	369	4130		
利用 枠			924	814	918	926	864	920	920	920	818	743	886	962	10615		
稼働率(%)			36	39	38	37	30	41	44	42	41	39	41	38	38.90%		36.4

(4) 事業のための基礎の充実

① 経理的基礎

- ・ 各月の経理状況を比較・検討し、複数の担当者（経理担当理事、吉田税務会計事務所税理士）がかかわり、財務基盤の明確化と経理処理の適正化を図った。
- ・ 安全性を確保(施設・設備の計画的改修・修繕)するために、必要な予算を計上し計画的に執行した。
- ・ 諸経費を計り、算出を見通すとともに、定款に定められた必要な経理情報を、ホームページを通して開示した。

② 技術的能力

- ・ 貸室事業については、受付事務を当会館窓口に一本化することにより、受付の重複がないようにするとともに、ホール、ギャラリースペースについては、1年前、その他の部屋については6か月前から受付を行い、計画的な利用ができるようにした。また、ホームページに掲載している空き室状況を毎日更新し、利用者の便宜をはかり、利用率の向上に努めた。
- ・ 利用者が多い金・土・日については、戸田ビルパートナーズに依頼して、技術員を常駐させるとともに、他の曜日についても、必要に応じて勤務日の振替えを活用するなどして技術員をおくことにより、利用者が安心して当会館を利用できるようにした。
- ・ 年間を通して計画的に安全点検や施設の維持管理を行うとともに、修理、補充、更新を計画的に行い、安全で機能的な施設を利用できるようにした。また、年間を通して計画的に美化・清掃に努めるとともに、毎日の定期的な清掃と、使用後の清掃の励行に努め、安全で清潔な施設を貸与できるようにした。
- ・ 安全・安心・快適・節約にかかわり以下の事業を実施した。改築後25年以上を経過して、多岐に渡って修理・更新する必要がでてきている。

- 【修繕・更新】
- 防火シャッター（B1・1F）
 - 駐車場入口伸縮扉設置
 - 駐車場照明設置
 - 和室・茶室の襖、障子張り替え
 - 4F 男子トイレスイッチ修理
 - 迫舞台修理
 - 1F 多目的トイレバルブ交換
 - 東壁面防水工事
 - 駐車場精算機基盤更新
 - 他



- 【節電の実施】
- ◆廊下の電灯を一部消灯(活動に支障のでない程度)
 - ◆洗面室の常時温水供給を停止
 - ◆冷房の28度徹底の呼びかけ

- 【感染対策の実施】 ◆アルコール消毒、体温測定の実施

3. 臨海学寮・林間学寮を活用した事業（公益目的事業2）

（1）宿泊施設の貸室事業の推進

新型コロナウイルス感染の状況が緩和され、通常通りの貸室事業を開始した。感染予防に十分配慮して開荘した。利用する団体によっては、一部屋あたりの利用人数を減らしたり、活動内容を変更したりして実施した。個人の利用も回復しつつあり、団体の利用も増え、結果として一字荘は小学校1校、野球チーム2団体、10家族、至楽荘は小学校10校、中学校1校、高校（部活動）7校、スポーツ・文化の団体6、教員研究会1、58家族が利用した。利用合計は延べ5573人に増えたが、以前のような内容にはまだ届かない。今年度は台風（気象状況）の影響によるキャンセルが目立った。

（平成24～令和5年度の貸室の状況）

学 寮		利用者数	延べ人数	二荘利用者の 延べ人数の合計	
臨海学寮 (至楽荘)	H24年度	2149人	4891人	H24	7105人
	H25年度	2163人	5303人	H25	7434人
	H26年度	2500人	5458人	H26	7428人
	H27年度	2348人	5439人	H27	7017人
	H28年度	2094人	5452人	H28	7065人
	H29年度	2034人	5477人	H29	7050人
	H30年度	2254人	5321人	H30	7147人
	R1年度	2075人	4986人	R1	6618人
	R2年度	54人	68人	R2	68人
	R3年度	234人	409人	R3	428人
	R4年度	841人	3424人	R4	4491人
	R5年度	1299人	4133人	R5	5573人
間学寮 (一字荘)	H24年度	766人	2214人		
	H25年度	726人	2131人		
	H26年度	686人	1970人		
	H27年度	536人	1578人		
	H28年度	559人	1613人		
	H29年度	614人	1573人		
	H30年度	628人	1826人		
	R1年度	560人	1632人		
	R2年度	0人	0人		
	R3年度	13人	19人		
	R4年度	399人	1067人		
	R5年度	479人	1440人		

- (2) 各種活動に対する支援（団体利用者・一般利用者、宿泊訓練・野外活動等）
- ・学寮のある千葉県勝浦市や長野県茅野市には、担当者が出向き、地元関係機関との連携をとった。（団体の利用時には、活動状況を視察するために出向いた。）

(3) 主催・共催事業の推進

コロナ感染拡大の状況から一般の利用は可能にしたが、主催事業として利用者が密になると思われる自然体験教室は令和5年度も中止した。

(4) 事業推進のための基礎の充実

①経理的基礎

- ・公益目的事業2の運営に、寮費、賛助会員の入会金と年会費を当てた。本年度の賛助会員は、前期618人・後期619人で当初予定していた会員数より減少した。
- ・共通会計より資金を繰り入れ、給湯器、炊飯器、食堂エアコン1機を更新した。
- ・経理処理は、豊島修練会事務局の経理担当理事・二荘担当理事と吉田税務会計事務所税理士が連携して担当し、複数体制で内容確認を行った。
- ・予算、決算ともに、開示対象として、ホームページにも公開している。

②技術的能力

- ・貸室事業については、豊島修練会事務局の二荘担当理事が担当し、運営管理した。ホームページで空き室状況を表示し、メールでの予約ができるようにしている。
- ・学寮としての適切な管理にあたるため、管理人（至楽荘：栗原徳雄、一字荘：今井美富士）を配置している。
- ・経年劣化した箇所を修繕・更新した。

	定期的な設備管理	修繕・更新など
臨海学寮 (至楽荘)	◇消防設備保守点検 ◇貯水槽清掃・水質検査 ◇浄化槽保守点検、汚泥抜き ◇害虫駆除 ◇厨房内の清掃	・給湯器・炊飯器・食堂エアコン1機の更新 ・施設内非常灯LED化 ※本館空調設備・キュービクル導入計画進行中
林間学寮 (一字荘)	◇高架水槽清掃 ◇消防用設備保守点検	・風呂用ボイラー更新 ・食堂・ロビー・多目的室の照明及び1階非常灯LED化

- ・非常用としてそれぞれの学寮に利用人数に応じた保存用ビスコを購入し、計画的に更新している。
- ・一字荘での活動の幅を広げるために購入した無線ルーターは、団体でのWifiを使った活動を可能にしている。



▲炊飯器(至楽荘)



▲給湯器(至楽荘)



▲ボイラー(一字荘)

4. 成美教育文化会館の一部の賃貸事業（収益目的事業1）

地域社会における不特定多数の人の教育、文化及び福祉の向上、及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした公益目的事業活動を安定的に維持していくため、収益目的事業を行った。

（1） 成美教育文化会館の一部を長期に渡って貸し出している団体や法人

- ①平日午前中のホールを、学校法人なでしこ学園に貸与し、なでしこ学園は体育的活動や行事等で使用している。
- ②4階東側部分を教育センターとして東京都東久留米市に貸与し、東久留米市は事務室、教育相談室、適応教室、教育相談などに使用している。
- ③1階受付横の小部屋を株式会社クルメディアに貸与し、クルメディアはFM局「TOKYO 854」のスタジオとして使用している。令和6年1月15日より3回目の賃貸借契約を更新した。
- ④5階西側部分を進学塾エッセンシャルアカデミーに貸与し、エッセンシャルアカデミーは小・中学生の進学塾教室として使用している。令和6年2月5日より3回目の賃貸借契約を更新した。
- ⑤4階西側部分を4 t u n e 株式会社に貸与し、4 t u n e は事務所として使用している。
- ⑥5階東部分を日機装エイコー株式会社に貸与し、日機装エイコーは事務所として使用している。

（2） 賃貸料の活用

成美教育文化会館の賃貸で得た料金は、会館の利用者一人一人が安全で有益な活動ができるようにするための、施設・設備などの維持・管理に活用した。

（3） 今後の課題

貸与先の要望も取り入れながら、セキュリティ等のトラブルが起きないように、いろいろな対策をしていく。

正味財産増減計算書内訳書

公益財団法人 豊島修練会
自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用収入	(27,349,143)	(4,296,510)		(31,645,653)	(29,703,719)	(29,703,719)			(61,349,372)
各室利用収入	25,829,722			25,829,722	29,703,719	29,703,719			55,533,441
土地貸付収入	1,519,421			1,519,421					1,519,421
寮費収入		4,296,510		4,296,510					4,296,510
② 運用財産収入	(472)	(51)	(9,341,490)	(9,342,013)					(9,342,013)
受取利息	472	51	9,341,490	9,342,013					9,342,013
③ 会費収入		(7,553,750)		(7,553,750)			(6,000,000)		(13,553,750)
入会金・会費収入		7,553,750		7,553,750			6,000,000		13,553,750
④ 賭収益	(4,684,151)			(4,684,151)	(366,672)	(366,672)			(5,050,823)
雑収入	4,684,151			4,684,151	366,672	366,672			5,050,823
経常収益計	32,033,766	11,850,311	9,341,490	53,225,567	30,070,391	30,070,391	6,000,000	0	89,295,958
(2) 経常費用									
① 事業費	(74,385,776)	(37,655,632)	(550)	(112,041,958)	(42,691,536)	(42,691,536)			(154,733,494)
役員報酬	8,320,000			8,320,000					8,320,000
給料手当	3,386,531	3,991,900		7,378,431					7,378,431
福利厚生費	12,303			12,303					12,303
光熱水費	6,127,433	3,189,059		9,316,492	1,750,695	1,750,695			11,067,187
印刷製本費	40,766			40,766					40,766
消耗品費	990,632	1,318,605		2,309,237					2,309,237
賃借料	887,594	3,141,116		4,028,710					4,028,710
支払保険料	115,287	576,770		692,057	88,524	88,524			780,581
修繕費	3,971,459	954,839		4,926,298	4,309,800	4,309,800			9,236,098
租税公課	6,580,672			6,580,672	5,053,016	5,053,016			11,633,688
渉外費		118,288		118,288					118,288
旅費交通費	348,624	66,810		415,434					415,434
通信運搬費	352,617	264,780		617,397					617,397
減価償却費	31,107,701	21,725,822		52,833,523	23,883,453	23,883,453			76,716,976
委託報酬料	1,954,844			1,954,844					1,954,844
会議費	1,780			1,780					1,780
設備管理費	5,915,098	2,007,740		7,922,838	4,541,950	4,541,950			12,464,788
清掃管理費	3,580,197			3,580,197	2,749,080	2,749,080			6,329,277
警備管理費	410,256			410,256	315,018	315,018			725,274
衛生費		62,868		62,868					62,868
廃棄物収集費	182,910	219,525		402,435					402,435
雑費	99,072	17,510	550	117,132					117,132
予備費									
② 管理費							(6,471,681)		(6,471,681)
役員報酬							3,240,000		3,240,000
福利厚生費							1,537		1,537
光熱水費							875,348		875,348
印刷製本費							4,530		4,530
消耗品費							123,690		123,690
賃借料							98,622		98,622
支払保険料							2,059		2,059
修繕費									0
租税公課							117,512		117,512
渉外費							124,000		124,000
旅費交通費							232,416		232,416
通信運搬費							39,180		39,180
減価償却費							579,980		579,980
委託報酬料							837,791		837,791
会議費							7,122		7,122
設備管理費							105,627		105,627
清掃管理費							63,933		63,933
警備管理費							7,326		7,326
衛生費									0
廃棄物収集費									0
雑費							11,008		11,008
予備費									0
経常費用計	74,385,776	37,655,632	550	112,041,958	42,691,536	42,691,536	6,471,681	0	161,205,175
当期経常増減額	-42,352,010	-25,805,321	9,340,940	-58,816,391	-12,621,145	-12,621,145	-471,681	0	-71,909,217
II 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
基本財産売却益	459,534,800			459,534,800					459,534,800
経常外収益計	459,534,800	0	0	459,534,800	0	0	0	0	459,534,800
(2) 経常外費用									
法人税・住民税及び事業税							70,000		70,000
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期経常外増減額	459,534,800	0	0	459,534,800	0	0	-70,000	0	459,464,800
他会計振替額	10,896,249	-1,000,000	-10,000,000	-103,751		0	103,751		0
一般正味財産期首残高	1,267,438,461	179,747,177	-105,889,180	1,341,296,458	624,102,518	624,102,518	12,782,730		1,978,181,706
一般正味財産期末残高	1,695,517,500	152,941,856	-106,548,240	1,741,911,116	611,481,373	611,481,373	12,344,800	0	2,365,737,289
III 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									0
指定正味財産期首残高									0
指定正味財産期末残高									0
III 正味財産期末残高	1,695,517,500	152,941,856	-106,548,240	1,741,911,116	611,481,373	611,481,373	12,344,800	0	2,365,737,289